

ご使用に際して、この説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保存してください。

ホリエの乙字湯

ホリエの乙字湯は、漢方処方にしたがって、生薬を配合した煎剤で、特異のにおいがある。
乙字湯は体力中等度以上で、便秘ぎみ、痔の痛み、かゆみ、出血などのあるものに適している。

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと 生後3ヶ月未満の乳児。
2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと 他の瀉下薬（下剤）
3. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
 - (4) 胃腸が弱く下痢しやすい人。
 - (5) 高齢者。
 - (6) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - (7) むくみのある人。
 - (8) 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
下痢
- 1カ月位（きれ痔、便秘に服用する場合には5～6日間）服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

その他の注意

服用に際して、次のことに注意してください。

- 定められた用法・用量を厳守すること。
- 煎じ液は、必ず熱いうちにかすをこし去ること。
- 本剤は、必ず1日分ずつ煎じ、数日分をまとめて煎じないこと。
- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- 1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させること。

【効能・効果】

大便がかたくて、便秘傾向にあるものの次の諸症：痔核（いぼ痔）、きれ痔、便秘

【用法・用量】

本品1袋を和紙袋入りのまま、水約600mLを加えて半量ぐらいまで煎じつめ、和紙袋とともに煎じかすを除き、煎液を3回に分けて食間に服用する。上記は大人の1日量である。ただし小児は下記の用量を服用する。

15歳未満7歳以上	大人量の2/3	7歳未満4歳以上	大人量の1/2
4歳未満2歳以上	大人量の1/3	2歳未満	大人量の1/4以下

【成分・分量】

本品1袋（1日量）19.0g中

日局トウキ	6.0g	日局サイコ	5.0g	日局オウゴン	3.0g
日局カンゾウ	3.0g	日局ショウマ	1.0g	日局ダイオウ	1.0g

【保管及び取扱い上の注意】

- 小児の手のとどかない所に保管すること。
- 直射日光をさけ、なるべく湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- 誤用をさけ、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- 煎じ液は腐敗しやすいので、冷暗所又は冷蔵庫等に保管し、服用時に再加熱して服用すること。

お問い合わせ先
堀江生薬株式会社 お客様相談室
受付時間：9時から17時まで（土、日、祝日を除く）
☎ 06-6231-1890

製造販売元

堀江生薬株式会社

〒639-1031 奈良県大和郡山市今国府町367-1